

令和4年8月10日発行

放課後

CONTENTS

No.74

議会をPick-Up!	2P
一般質問	3-9P
議案の審議結果	10P
政務活動費申請状況	11P
議会レポート	12P

(写真：松代高校写真部)

6月定例会

● 議会をPick-Up!

令和4年第2回定例会

会期 6月10日～20日（11日間）

審議の結果は、10ページに掲載

6月の定例会は、市長提出議案23件、請願1件、議会提出議案1件を審議しました。

Pick-Up
01

一般会計補正予算〔第3号〕

（主な事業および内容）

● 移住支援窓口強化事業

移住支援窓口「十日町市移住コンシェルジュ」の相談体制や情報発信体制をさらに拡充し、市の魅力を強く発信すること、移住者の増加を目指します。

● 市出身学生応援ふるさと便事業

市外で勉学に励んでいる市出身学生へ、十日町市カタログギフト等の贈呈を通して、ふるさとの継続的なつながりを構築します。



● マイナンバーカード交付拡大事業

令和4年4月1日以降に申請し交付を受けた新規取得者先着4千人に、十日町市プレミアム商品券（2千円分）を進呈します。

● 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金支給事業

住民税（均等割）非課税世帯等で、これまでに1世帯10万円の臨時特別給付金を受給していない世帯に対し、1世帯10万円の給付金を支給します。



● 子育て世帯生活支援特別給付金支給事業

ひとり親および住民税（均等割）非課税等の子育て世帯に対し、子ども1人当たり5万円の給付金を支給します。

● 学校給食センター事業

自校給食としている川治小学校の給食設備の老朽化が著しいことから、同校の給食を令和5年4月から水沢学校給食センターに組み入れるため、校舎の搬入口の改修等を行います。

Pick-Up
02

契約の締結

● 除雪センター新築工事

建設から43年経過した現除雪センターは老朽化が著しく、除雪機械の格納台数も限られているため、新たな除雪センターを建設し、持続可能で安定的な除雪体制の強化を図ります。



イメージ

● 部活動地域移行検討事業

国が進める中学校部活動の地域移行を推進するため、関係団体等による「学校部活動地域移行準備委員会」を設置し、今後の方向性を検討します。



Pick-Up
03

人事議案

任期満了に伴う人事議案が提出され、同意しました。

【人権擁護委員】

久保田 均 氏

井ノ川 歩 氏

押木 正美 氏

島田 昌代 氏

Pick-Up
04

条例の制定

（主な内容）

● 清津川フレッシュパーク条例の制定

清津川フレッシュパークは県が設置し、県との維持管理協定に基づき市が管理していましたが、令和4年7月1日付けで同パークを県から譲り受けたことに伴い、キヤンプサイトの使用料や適正な利用方法を規定した条例を制定しました。

また、隣接する茅川交流広場を同パークと一体的に管理し、それぞれの公園が持つ魅力の一元化を図ります。



清津川フレッシュパーク（茅川）

ココが聞きたい! 一般質問

一般質問は、議員個人が問題意識を市政に投げかけ、市の見解を直接求めることができる唯一の機会です。今回は、13人が私たちの生活に関わることについて質問をしました。

質問議員	質問事項	ページ
星名大輔	流雪溝について	3
村山達也	市民所得を向上したい、生きにくさの無い十日町市に向け	4
関口立之	高速情報通信網(光回線)のさらなる活用について	4
富井春美	武力攻撃が起こらない外交に、物価高での市民生活に支援を	5
鈴木祐一	大地の芸術祭と今後の展望について	5
滝沢繁	深刻化する農業、基幹産業の農業をどう守るか	6
大嶋由紀子	魚沼基幹病院への直通バス運行開始されました!!	6

質問議員	質問事項	ページ
高橋俊一	デジタル化に向けた取り組みと中学校部活動存続について	7
福崎哲也	市長が想う新たな十日町市について	7
嶋村真友子	命と健康を守る取り組みについて	8
鈴木和雄	集落機能維持強化を進め集落を守る。障がい福祉について	8
滝沢貞親	「働く場を増やす」具体的事業とは何かについて	9
中林寛暁	学校部活動、地域部活動について	9

②非直面世帯という考え方は、十日町の市街地地域で、流雪溝に面していない世帯であっても流雪溝路線を利用することで一定の受益を得ているという受益者負担の原則に基づき、昭和56年の運営当初より設定されているものと認識しています。十日町の市街地地域、令和3年度、直面世帯で2687世帯、非直面世帯で770世帯となっています。流雪溝の運営は地域、協議会を基本とした各ゾーン、各町内の考え方で進められているものですので、それを尊重しつつ、市としても市民の皆さまの声をしっかりと協議会に伝えていく中で、これからのよりよい方向になるように検討を進めたいと考えています。



国道253号の非直面世帯が多い区間

③水力発電は太陽光や風力発電と違い天候の影響を大きく受けることのない発電ですが、採算性を確保するには、一年を通じてまとまった水量が安定して流れていることが必要となります。したがって、冬季限定の通水となる流雪溝での発電は、難しいと考えます。一方、流雪溝用水を河川から取水している箇所では、夏はかんがい用、冬は流雪溝用として、一年を通じて、水が流せる箇所もあります。こうしたところでは、取水の増量や水路の維持管理性について検討しながら発電条件の整理を行いたいと考えています。



流雪溝について

星名大輔 議員





市民所得を向上したい、生きにくさの無い十日町市に向け

村山達也 議員



質問 ①市民の所得向上は急務、いかがお考えか。②企業支援策の冊子が必要な情報にたどり着きにくい。フローチャート等の採用は。③給与アップには事業者側への支援も必要だが。④支援策に取り組んだ後のフォロー体制は。

答弁 ①雇用者報酬や企業所得を上げるためには、市内企業のさらなる活発な生産活動と、それによりもたらされる増収、増益が必要だと考えており、社会の流れを捉えて成長を目指す頑張る企業を応援していきます。②事業所への支援策をより伝えやすくするために取り組んでいかなければいけないものだと思いますので、今後の対応を考えていきます。③企業が活発な生産活動を行い、利益を従業員にしっかりと分配できるように、増益につながる取り組みに対し応援していきたいと考えています。④支援措置の継続期間の中で、業況を確認させていただくとともに、創業支援などでは積極的に情報をいただきに動いているところです。

質問 ①ジェンダーの平等をどのように意識しているか。②パートナシップ制度の導入は。③少数者※が生きにくさの無い十日町市であってほしいが、※少数者(マイノリティ)＝LGBT。



ジェンダー平等はSDGs(持続可能な開発目標)の目標5

障がい者・難病者・生活困窮者など

答弁 ①ジェンダー平等の取り組みは、持続可能な地域づくりを進めていく上で極めて重要であると認識しております。②来年度行うアンケートにおいて、市民の皆さまの声をお聞きしながら、制度の導入を前向きに検討したいと考えています。③SDGsでは、誰も置き去りにしないという大事な基本感があります。どなたも排除することなく、市としてここで快適生活をしていただけるような、そういうベースをしっかりと作ってまいりたいと考えています。



高速情報通信網(光回線)のさらなる活用について

関口立之 議員



質問 光回線の基盤整備と活用について①約十年前に市が取り組んだアクションプランの概要と、現在の利用実態は?②GIGAスクール構想に対応したオンライン授業やインターネットに繋げることで利便性をアップさせる家電製品の登場など、光回線を使ったインターネットの利用機会がますます増えていく。「誰も置き去りにしない」ために、市が支援できることは?

答弁 ①平成19年度に策定した実施計画を基に、高速インターネットについては、市内10の局舎のうち飛渡や仙田、室野の3局舎のエリアを市が整備し、市内全域で高速通信網を引き込む光回線の敷設が完了しました。当時は、都市部との情報格差だけでなく、市内でも市街地と中山間地域で大きな情報格差が生じていましたが、平成23年度の事業完了時には市内の高速情報通信環境が飛躍的に向上し、都市と同じように情報通信技術を活用できる環境を整えることができました。現在の市内の一般家庭における利用状況については、さまざまな通信環境が整っているため把握していませんが、令和3年2月に教育委員会が行った調査では、市立学校の児童生徒がいるご家庭では、

タブレットに接続できる割合は94.3%でした。このことから、当市では多くのご家庭が無線による方法を含めたインターネットサービスを利用しているものと推測しております。②インターネットにアクセスしたいと望む人全てが、できる環境の中で生活する時代が、すぐそこに来ていると思っています。それまでもうしばらくの間、市で支援できる場所がありそうだと感じました。どこまで踏み込んでいくのがいいのか、業者と一緒にやるのがいいのか、その辺を検討させていただきたいと思っています。



光回線を電柱から全ての家庭に!



武力攻撃が起こらない外交に 物価高での市民生活に支援を

富井 春美 議員



質問 後期基本計画の「外国などからの武力攻撃に備え、避難・救援など市民の意識啓発に努めます。」の記述について①意識啓発の内容は。②意識啓発をしてどうするのか。③武力攻撃が起こらない外交が大切と考えるが、いかがか。

答弁 ①自然災害などと同様に、万が一起きた場合の避難などを想定した情報提供、事態を認知いただくような活動を進めていくことを指しています。②避難所設置や救援物資の備蓄、防災無線など情報伝達手段を整備し、万が一の時には、あらゆる手段で市民にお知らせし、避難行動を促します。

③世界では、威力をもって領土を拡大し、反対勢力を攻撃する事態が起きます。政府には、このような武力攻撃が起きないよう、外交努力を望みます。

質問 物価高騰が長引くと言われている状況で①市民生活を守る手立て・支援はどのようなものか。②給食費の値上げや給食費の無償化の考えはあるか。③水道料値上げの先延ばしは、支援が必要と考えるがいかがか。

答弁 ①国の緊急経済対策により、物価高騰等で生活困窮に直面する皆さま



「核兵器廃絶平和都市宣言」記念碑 (市役所本庁舎)

へ給付金を支給します。また、コロナ対応臨時交付金を活用し、プレミアム商品券発行事業を実施します。②メニュー等の見直しを行い、給食の質を担保しながら価格も抑えているため、現在値上げは考えていません。また、給食費は賄材料費のみいただいております。今後とも保護者からご負担いただくべきと考えます。なお、準要保護世帯の皆さまには、就学援助制度として、給食費を市で全額対応しています。③減免については、現在の具体的な予定はしていませんが、今後の状況によっては検討させていただきたいと考えています。



大地の芸術祭と今後の展望について

鈴木 祐一 議員



質問 GWに始まり好スタートとなった大地の芸術祭ですが、今回初めての長期開催となり、いろいろな面で期待度も高いと思います。今回どんな形が成功と考えるかお尋ねいたします。

答弁 単純な数値の比較だけでは真の実績、評価を導けないと考えています。例えば来場者の満足度や今回参加していただいた集落の活性化の度合い、また宿泊、飲食業への経済的効果、芸術祭に関わるさまざまな声をアンケート等で整理した上で総合的に検証し、今回の総括を示したいと考えています。

質問 この大地の芸術祭を武器に、ふるさと納税や企業版ふるさと納税など、とおかまの収益につなげていくことについてどうお考えか、また、新たな展望についてお尋ねいたします。

答弁 企業版ふるさと納税がスタートした平成28年以降、芸術祭への寄附額は県内トップレベルの実績です。今後も芸術祭を応援してくださる方や、法人の皆さまとのつながりを大切に、新たなチャンスである経団連の皆さまとの連携構築に向けて取り組みを進めていく所存です。今後の新たな展望としては、文化観光推進法に基づく地域計画の方針にのっとり、芸術祭の作品



レアンドロ・エルリッヒ「Palimpsest 空の池」
(Photo by KIOKU Keizo)



深刻化する農業、基幹産業の農業をどう守るか

滝沢 繁 議員



質問 農業センサスの結果における市の現状とこれからの対策について伺う。

答弁 過去5年間で8組織が新たに法人化、認定農業者数も463経営体から490経営体が増加するなど、担い手への集積また経営規模の拡大が着実に進んでいると考えています。今後も法人化を推進し、経営基盤の強化を図るとともに、意欲ある農業者を積極的に認定農業者として認定し、地域に即した担い手の育成、確保に努めます。

質問 食の海外からの依存は転換すべきと思うが考えは。

答弁 国内での生産力向上への取り組みが急務であり、食料自給率向上に向けた食料安全保障の強化が必要と考えます。

質問 国の「みどりの食料システム戦略」は、当市での小規模、家族農業の取り組みと一体なのか。市長の考えは。

答弁 みどりの食料システム戦略は、経営規模に関わらず、全ての農林水産業者が将来目指すべき方向、取り組みであると認識しています。引き続き国の動向を注視し、農業者の皆さまと共に理解を深めたいと考えています。

質問 国の水田活用交付金は農家の支えになっているが、交付対象水田の範

囲をどう見ているか。

答弁 国は令和4年度の見直し方針で、今後5年間に一度も水張りが行われない農地は、令和9年以降、交付対象としないことを新たに示しました。これまでより一歩踏み込んだ方針であり、耕作条件が不利な中山間地の現実に即していない部分もあることから、交付対象水田の範囲は地域の実情に即した取り扱いとすべきと考えています。

質問 肥料燃料費高騰で打撃を受ける生産者の利益をどう守るのか。

答弁 国、県の動向を注視し、市としても有効な支援策を検討していきます。



農業資材高騰、特に肥料が大幅に値上がり、農家の所得が心配されます。



魚沼基幹病院への直通バス運行開始されました!!

大嶋由紀子 議員



質問 ①周知について②4月・5月の利用者数について③利用者からどのような声が届いているのか④実証運行はいつまで行われるのか。

答弁 ①今年2月1日の記者会見で、魚沼基幹病院線の実証運行の開始を発表し、その後も市報やホームページへの掲載をはじめ、時刻表等を表記した公共交通マップの全戸配布や市の公式LINEなど、継続的に周知を行ってききました。また、魚沼基幹病院及び十日町病院からは、時刻表を表記したチラシの掲出に協力をいただくなど、さまざまな方法で周知に努めてきたところです。

②魚沼基幹病院及び浦佐駅までの行きと帰りの利用者を合わせ、4月は38人、5月は63人、2か月の合計で101人です。③市に対し直接要望等はいただいていませんが、運行事業者へは、「直通便ができてよかった」、「電車ですり抜けで行くより時間がからず、半日で行って来れる」といった声が届いていると伺っています。

④1、2年での終了は考えていません。毎年8月頃に南魚沼市や運行事業者と検証を行い、利用状況や利用者の声を把握した中で、翌年度に向けて運行内容の協議を進めたいと考えています。

●魚沼基幹病院線時刻表

十日町→魚沼基幹病院行き		魚沼基幹病院→十日町行き	
十日町車庫前発	魚沼基幹病院前着	魚沼基幹病院前発	十日町車庫前着
8:05	9:00		
11:05	12:00	11:30	12:25
13:05	14:00	14:30	15:25

※往路・復路とも平日のみ運行

大嶋由紀子議員作成

質問 市民にとって魚沼基幹病院の位置付けをどのように考えているのか。

答弁 魚沼基幹病院は当圏域内において、地域で高度な医療を支える柱となる病院として位置付けられており、この地域の医療体制を牽引する大変重要な病院であると認識しています。今後、も県立十日町病院や松代病院との連携協力により、日常の医療から高度急性期の医療までを圏域内で完結できる、地域全体で1つの病院、そのことを実践しながら、市民の安心を支える病院として、さらなる発展を期待しているところです。



デジタル化に向けた取り組み と中学校部活動存続について

高橋 俊一 議員



質問 各事業所のデジタル化に向けて、市と商工会議所や各商工会が一体となつた協議会を組み立てる意向はないか。

答弁 各団体の会員企業側がその気にならないと、なかなか前に進まないというところがあると思います。デジタル化に向けた取り組みについて、行政として関わっていくに当たっては、事業者や経済団体の意見を聞きながら、どのような形が望ましいのかしっかりと考えていく必要があると思っています。

質問 当市における小中学校の統廃合と同じく、中学校での部活動も、教師の多忙化や少子化により厳しい状況になっている。国からの指示だけで変革を進めて行くのか。

答弁 昨年度から部活動の在り方検討委員会、地域移行を一齐に実施するのは難しいことから、試行競技を決めて段階的に実行するという方向付けがなされたところです。令和5年度からの段階的な地域移行に向け、具体的な方針を定めるため、関係団体で組織する部活動地域移行準備委員会を立ち上げることとしています。

質問 経済的な面において、地域移行後の部活動だけに関しても、貧困やヤングケアラーなどに、国からの補助以

上の対応をするのか。

答弁 地域移行後の部活動に係るスポーツ団体への支援として、例えば、市の施設利用時の定額貸し出し制度を設けるとか、送迎をボランティアさんの力をお借りするなど、今後立ち上げる準備委員会の中でいろいろ協議をしていかなければならないと思っています。経済的に困窮されている家庭への支援としては、就学支援等も含め、これから国が出してくる一定のスキームを見ながら、今後検討していきたいと思っています。

スポーツ庁からの 中学部活動を「民間委託」案

スポーツ庁は2022年4月26日、運動部活動の地域移行に関する検討委員会を開いた。後日公表された提言案では、各自治体の公立中学校における休日の運動部活動から段階的に地域移行し、実施主体や指導者、大会や会費のあり方等も含めて、達成の目標時期は2025年度(令和7年度)末をめどに設定し提言する、としている。

高橋俊一議員作成



市長が想う新たな十日町市について

福崎 哲也 議員



質問 先般発行された市勢要覧に新たな十日町市の創造に向けてとして市長の想いが載っています。そこには日本遺産の認定から大地の芸術祭、人口減少対策などが書かれています。①日本遺産に認定されたことによって十日町市の魅力がどう変わるのか、市長のビジョンを伺います。②大地の芸術祭の盛り上りは今一つと感じます。コロナで経済や地域振興が落ち込む中、地元市民の特権である「パスポート無料化」の考えはなかったのか伺います。

答弁 ①日本遺産に認定されている104個の中で豪雪のストーリーというのはほかにはなく、豪雪地帯のいろいろな苦労、でもそこから生まれる雪国文化、そうしたものをしっかりと強調できる、また文化庁からもそれを認めていただいたというのは非常に意義あることだと思います。当市の文化観光市推進法に基づく地域計画、これは日本遺産に描かれた着もの、食べもの、建もの、まつり、美という5つのものがあり、それを背景にして国の補助事業をしつかり活用する中で文化観光拠点施設をつくり上げ、グレードアップしていくと、そんな動きと重なったわけであり、そのことはまた新たな十日町

市を創造していく上で非常に大きな武器になるなという思いです。十日町市の豪雪に支えられた雪国文化、それからにじみ出てきた食文化、ものづくりの文化、大地の美を表象した現代アート、そうしたものをしっかりとアピールする中で、この地を一味違う場所として皆さんに認めていただけるようなことができればという思いです。②今回は、早割りとか、いろんなことで求めやすくしており、子どもたちは無料です。コロナだからできるだけ参画していただきたいという観点から市民は無料という検討はしませんでした。





命と健康を守る取り組みについて

嶋村真友子 議員



質問 ① 包括的な性教育をどう捉えているか。② 幼少期からの性教育が大事だと言われている。幼保育園や乳幼児健診で性教育の絵本を紹介できないか。

③ 保育園やPTA行事で性教育の人形劇を取り入れることは可能か。④ 市長の性教育に関する見解は。

答弁 ① 性別の差異に関する正しい理解や性感染症等の予防の知識、避妊の方法や中絶の危険性などを発達段階に応じて指導することが重要だと捉えています。また、各家庭における性教育もとても重要であり、保護者や地域社会の理解の下、共に学ぶ機会の創設と相談しやすい環境づくりが必要であると考えています。② 保育園等に絵本を紹介することは可能ですが、園の方針や現場の声も重要ですので十分検討が必要と考えています。乳幼児健診以外のもう少し成長した方の集まる場所でも本を紹介できないか、教育委員会等と相談し検討していきたいと思っています。

③ そのような人形劇を観た上で、どういうやり方がいいか検討したいと考えています。④ 市長としてではなく一人の人間として、家庭や地域等でさまざまな機会や情報に正しく触れることは、非常に大事なことだと感じました。

性教育＝“命の教育”大人も子供と一緒に楽しみながら学んでいこう！

〈3大メリット〉

- 1 自己肯定感が高まり、自分も人も大切にできる
- 2 性犯罪の被害者・加害者にならない
- 3 低年齢の性体験、妊娠・性感染症リスクなどを回避できる

○ 分かりやすい伝え方や絵本の紹介がされているサイト

「家庭でできる性教育サイト命育®」
(<https://meiiku.com>)



質問 夏のマスク着用について、政府方針を防災無線で周知徹底願います。

答弁 国等から示された考え方を分かりやすく整理し、内容を精査した上でお知らせしたいと考えています。

質問 原発再稼働の事前了解権に関して、市民への周知が必要ではないか。

答弁 柏崎市と刈羽村以外の自治体の意向は県が確認を行い、代表して判断すべきと考えています。当市の意向は、市民の意見を確認し、まとめた上で私から知事に伝えたいと考えています。そのため市民に原発の情報を分かりやすく伝えることが大事だと考えます。



集落機能維持強化を進め集落を守る。障がい福祉について

鈴木和雄 議員



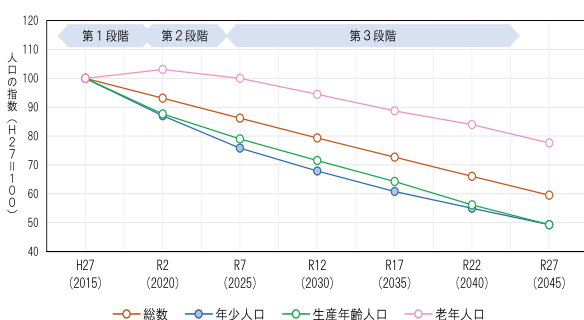
質問 ① 集落が抱える課題はさまざま。集落機能維持・強化に向け、人材育成をどう進めるのか。② 地域自治組織に提案した、人口増減の独自シミュレーションで人口増が図られるのか。

答弁 ① 地域おこし協力隊や地域支援員制度等を活用した取り組みにより、退任後も地域に移り住み高齢化集落の機能維持、地域資源を活用した起業等を行う若者が増え、地域力の向上につながっていると考えています。また、市では、人口規模が小さく、高齢化率の高い集落に対する支援を行うため、昨年度、高齢化集落等対策基金を創設しました。今後、この基金等を財源として、集落の皆さんの安全安心な暮らしを守るために、地域自治組織と連携を図りながら、集落の実情に合わせた施策を講じていきます。② このシミュレーションは、集落の皆さんが人口減少を我が事として捉え、Uイーターの増につなげる取り組みを考えるきっかけとするために作成したものです。これを受け松之山自治振興会では、転入者の増加に向けた取り組みを始めています。今後もUイーターの増加につなげる取り組みについて、地域自治組織等と連携を図りながら、集落の担

質問 ① 障がい福祉・共生の社会づくりに向けた課題は何か。② 障がい者支援施設「なかまの家」は老朽化が進んでいる。共生の社会づくりに向け、整備をどのように進めるのか。

答弁 ① 地域生活を支える持続可能な相談支援体制の構築と、緊急時等の対応を可能とする地域生活支援拠点の整備が今後の課題と認識しています。② 既に過疎計画に搭載するなどの準備を進めており、建設に向けて具体的なところまで来ています。

● 社人研推計における人口の減少段階 (十日町市)



(資料) 総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

出展：第2期十日町市人口ビジョン (27ページから抜粋)



「働く場を増やす」具体的事業とは何かについて

滝沢 貞親 議員



質問 市民の声、市民が望んでいることについて、「十日町市総合計画に関するアンケート」によれば、第一位は「働く場所を増やす」となっています。この課題に対して市として、どのような事業を行っていますか、またその事業による成果を教えてください。

答弁 平成24年度から令和3年度までに、企業30社、43件の投資案件に延べ4億8千万円分の奨励措置を講じ、約87億円の設備投資と434人の新規雇用につながっています。また、医療・福祉分野で令和2年度には、市内就労者の13%、3404人が働いており、市では、市内に就職する看護・介護職員の就業支度金への補助や修学資金の貸与など、人材確保に取り組んでいます。

次に、市役所では、平成28年度以降は毎年新規で20名前後を採用し、現在は正職員507名、会計年度任用職員も350人ほどが従事、消防も毎年採用を行っており、現在は正職員と会計年度任用職員を合わせて121人が従事しています。

また、新規創業支援策により、これまでに創業・新分野に進出した方は延べ82人に上り、農業分野においても新規就農者への支援により、毎年15人前

後の方が就農しています。

質問 企業誘致が思うように進んでいないと感じますが、その理由を教えてください。また、地元企業を成長させるノウハウを研究する「シンクタンク」は存在するのか伺います。

答弁 高速道路からの距離やアクセス、工業用地の不足、雪対策、若年労働力の不足、工業用水の確保などが理由として挙げられると思います。また、地元企業を成長させることを目的としたシンクタンクはありませんが、商工会議所や商工会などはそれに近いものと考えられます。



学校部活動、地域部活動について

中林 寛曉 議員



質問 来年度からに迫った休日部活動の地域移行。今現在でも、未だに明確な方針が決まっておらず、保護者や地域、スポーツ関係団体もどのように進めて行っているのかわからないというのが現状です。地域移行にあたり、中々進まない原因の一つにどこが主として進めていくのかも課題になっており、行政なのか地域なのか学校なのか、当局としては何処が中心となって進めていくのか方針をお聞かせください。

答弁 部活動の地域移行については、今後、部活動地域移行準備委員会を立ち上げ、方針等を協議させていただく予定です。

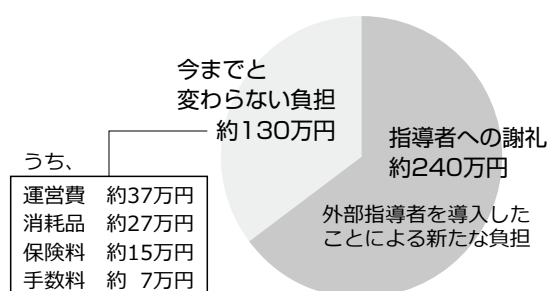
どこが中心となって進めていくかという点については、市教育委員会が中心になるということは当然ですが、学校教育に係るところだけでなく、スポーツ振興あるいは文化振興、生涯学習に係る部分も加わった教育委員会という意味です。そして、実際に地域移行になった場合の運営主体としては、地域のスポーツ団体あるいは文化団体が想定されるわけですので、教育委員会はもとより、学校、そして保護者、それからスポーツ、文化団体など、地域一丸となって取り組む必要がある

と考えています。

地域や保護者、団体などの支援について、国からは具体的な支援策等についてまだ明らかにされていないため、国や県の動向を見ながら検討を進めていくこととなります。

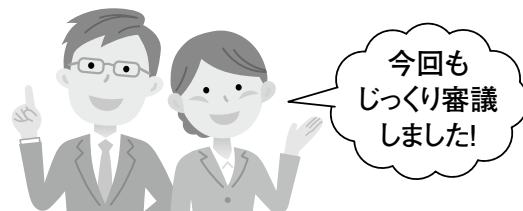
また、国は部活動の地域移行に伴って発生する新たな費用は、原則として受益者負担という方針を示していることから、経済的に援助が必要な家庭に対する助成、またこういったことも含めて事業者などから支援が受けられるような体制づくりも進めていかなければならないと考えています。

●休日の部活動指導を外部指導者へ移行している中学校の活動費 保護者負担



中林寛曉議員作成

議案の審議結果



6月定例会 議決結果

議案番号等	件名	付託委員会	採決状況	議決結果
市長提出議案	52 専決処分の承認（令和3年度十日町市一般会計補正予算（第18号））	—	全員賛成	承認
	53 専決処分の承認（令和3年度十日町市一般会計補正予算（第19号））	—	全員賛成	承認
	54 専決処分の承認（十日町市税条例等の一部を改正する条例）	—	全員賛成	承認
	55 専決処分の承認（十日町市都市計画税条例の一部を改正する条例）	—	全員賛成	承認
	56 専決処分の承認（十日町市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	—	全員賛成	承認
	57 専決処分の承認（令和4年度十日町市一般会計補正予算（第1号））	—	全員賛成	承認
	58 専決処分の承認（令和4年度十日町市一般会計補正予算（第2号））	—	全員賛成	承認
	59 人権擁護委員候補者の推薦（久保田 均 氏）	—	全員賛成	同意
	60 人権擁護委員候補者の推薦（井ノ川 歩 氏）	—	全員賛成	同意
	61 人権擁護委員候補者の推薦（押木 正美 氏）	—	全員賛成	同意
	62 人権擁護委員候補者の推薦（島田 昌代 氏）	—	全員賛成	同意
	63 十日町市清津川フレッシュパーク条例制定	産業建設	全員賛成	原案可決
	64 土地の無償譲渡	厚生	全員賛成	原案可決
	65 令和4年度十日町市一般会計補正予算（第3号）	—	全員賛成	原案可決
	66 令和4年度十日町市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	—	全員賛成	原案可決
	67 令和4年度十日町市訪問看護事業特別会計補正予算（第1号）	—	全員賛成	原案可決
	68 令和4年度十日町市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	—	全員賛成	原案可決
	69 令和4年度十日町市介護保険特別会計補正予算（第1号）	—	全員賛成	原案可決
	70 令和4年度十日町市水道事業会計補正予算（第1号）	—	全員賛成	原案可決
	71 令和4年度十日町市簡易水道事業会計補正予算（第1号）	—	全員賛成	原案可決
	72 令和4年度十日町市下水道事業会計補正予算（第1号）	—	全員賛成	原案可決
	73 工事請負契約の締結（除雪センター新築工事）	—	全員賛成	原案可決
	74 令和4年度十日町市一般会計補正予算（第4号）	—	全員賛成	原案可決
請願	3 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の採択を求める請願	総務文教	賛成少数	不採択
議会提出議案	4 議員派遣	—	全員賛成	原案可決

賛否等の状況

賛否が分かれた議案のうち、起立採決等により個々の賛否が明らかな議案について掲載。（○：賛成、×：反対、－：欠席）
※鈴木一郎議員は議長職のため、特別多数議決以外の議案については表決（賛成・反対の意思表示）権はありません。

議案番号等	議決結果	賛成	反対	かがやき					伸暢 しん ちょう			令和の風			日本共産党 十日町市議団			新成会 しん せい かい			無会派			議長	
				村山達也	富井高志	水落静子	中林寛暁	山家悠平	遠田延雄	高橋俊一	鈴木祐一	関口立之	吉村重敏	根津年夫	山口康司	星名大輔	鈴木和雄	滝沢繁	富井春美	福崎哲也	宮沢幸子	小嶋武夫	小林正夫		大嶋由紀子
請3	不採択	6	17	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	×	○	○	※

お知らせします!

令和4年度 政務活動費申請状況

● 政務活動費交付申請一覧

会 派	所 属 議 員	交 付 額
か が や き	村山達也、富井高志、水落静子、 中林寛暁、山家悠平、遠田延雄、鈴木一郎	1,050,000
伸 暢	高橋俊一、鈴木祐一、関口立之、吉村重敏	600,000
令 和 の 風	根津年夫、山口康司、星名大輔	450,000
日本共産党十日町市議団	鈴木和雄、滝沢 繁、富井春美	450,000
新 成 会	福崎哲也、宮沢幸子、小嶋武夫	450,000
だ い ち	小林正夫	150,000
みんなの笑顔	大嶋由紀子	150,000
つ ぼ み	滝沢貞親	150,000
虹 の 輪	嶋村真友子	150,000
合 計		3,600,000

十日町市では、市議会議員の市政に関する調査研究のために必要な経費の一部として、「十日町市議会政務活動費の交付に関する条例」に基づき、交付申請を行った会派※に対し、会派に所属する議員1人につき年額15万円を交付しています。令和4年度は左記の会派が交付申請を行いました。

※ 所属議員1人でも申請することができます。

政務活動費による活動の一部を紹介します。

※他の会派についても、順次掲載します。

かがやき



6月に会派での管内視察を行いました。今回の視察は市街地の企業、施設の視察です。

始めに寿町にある吉澤織物株式会社の工場視察です。6月にきものGO T T A K Uが3年ぶりに開催され、同様の見学コースを視察しました。全国のものでも有数な地域はほぼ分業制で、十日町市のように一社で総合的に生産している地域は他にないようで、すべての工程が連携して行えることが特徴です。

次にふれあいの丘支援学校です。開校当初から教室数の不足が課題でし

たが、本年度より教室を増やし、よりきめ細やかな対応が出来るようになっていきます。

次に昨年10月に登録有形文化財に登録された、角屋社屋別館を視察しました。木造二階建ての建物で、側面の軒がセガイ造りとなっていることや、積雪時に雪で囲まれても採光出来るように吹き抜けに設けられた高窓などが特徴です。

最後に拡幅工事のため通行止めとなっているJ R 線稲荷町の踏切を、徒歩班と車班に別れ、実際に迂回し現状を確認しました。



日本共産党十日町市議団



日本共産党十日町市議団は、安心して住み続けられる「まち」づくりをめざして活動しています。

【豪雪地の願いを届ける】

4月6日、豪雪対策について政府交渉を行いました。

日本共産党県委員をはじめ、豪雪地域の議員と

一緒に、内閣府に次の点について要請しました。

①2021年の災害救助法で900軒の申請が認められなかったことから「昨年の豪雪から対応が変わったのか」②「障害物の除去として対象となる屋根雪の除雪例」は豪

雪地の現状に見合ったものに改定することを求めました。

内閣府は①「対応は変わっていない。写真の添付など困難であればコメントで十分だ」②「事例の仕方に工夫が必要」と回答しました。

十日町市は豪雪地域です。豪雪から住民の命、暮らしを守るために国への交渉を行いました。

【日常活動】

議会内容を、市議団二ユースで伝えています。また、調査研究の書籍購入や研修会への参加など研鑽に努めています。



産業建設常任委員会

5月24日に、株式会社玉垣製
麵所と株式会社エイシンへ管内
視察を行いました。

玉垣製麵所では、おいしいそ
ば乾麵大賞グランプリ2年連続
受賞の秘訣や社員教育等を伺い、
年2回社員との個別面談で、改
善点等を早期発見し業務に生か
していることや、グランプリ受
賞という良い状況の中でも、原
材料や水道光熱費の増加により
値上げをしなければならないな
ど、難しい経営判断を取らざる
を得ないことなどの説明があり
ました。



株式会社 玉垣製麵所



株式会社 エイシン

株式会社エイシンでは、固定
価格買い取り制度F-I-Tの認定
を受け、木質バイオマス発電事
業が開始。「バイオマス発電は
太陽と地球が育てた自然を頂く
感謝の事業」と、売電による利
益だけを目的とするのではなく、
地域の森林資源の有効利用や雇
用の場づくりなどの考え、小学
生や観光見学にも力を注いでい
くことなどを伺いました。

十日町市には次世代につない
でいくべき素晴らしい事業があ
ります。物価高騰の中で議会と
行政がタッグを組み、どんなサ
ポートができるか考える良い機
会となりました。

表紙写真について

今号の表紙は松代高校写真部の作品です。

松代高校写真部



松代高校の写真部です。校外イベントへの参加だけでな
く、体育祭などの学校行事でも活躍しています。これから
も豊かな自然の撮影を通して、輝く一瞬を写真に収められ
るように頑張っていきます。

ラジオ「FMとおかまち」(78.3MHz)で
一般質問を放送しています!

一般質問をした当日、夕方7時から放送
していますので、ぜひお聴きください。

インターネットで
本会議の様子を配信しています!



本会議の模様を生中継・録画中継
しています。ホームページからアク
セスしてください。スマートフォン、
タブレットでも!



十日町市議会

検索

市議会の詳しい情報は、
十日町市議会のホームページを
ご覧ください



【お問い合わせ】

十日町市議会事務局

〒948-8501

十日町市千歳町3丁目3番地
市役所本庁舎3階

電話 025-757-3119

FAX 025-757-5999

あ
と
が
き

酷暑の夏、皆さんどんな夏
をお過ごしでしょうか。我が
家の子供たちは暑さに負けず
に海に山に駆け回っております。

昨年はほとんど開催されな
かった地域でのお祭りや大地
の芸術祭で、久々に賑やかな
声が響いたのではないでしょ
うか。議会でも視察や勉強会
が活発に行われ始め、議員と
して学びが深まっていく喜び
を感じております。

また、議会だよりの紙面も
少しずつバージョンアップし
ていますので、ぜひ隅々まで
読んでいただき話題にしてい
ただけたら幸いです。

(嶋村真友子)